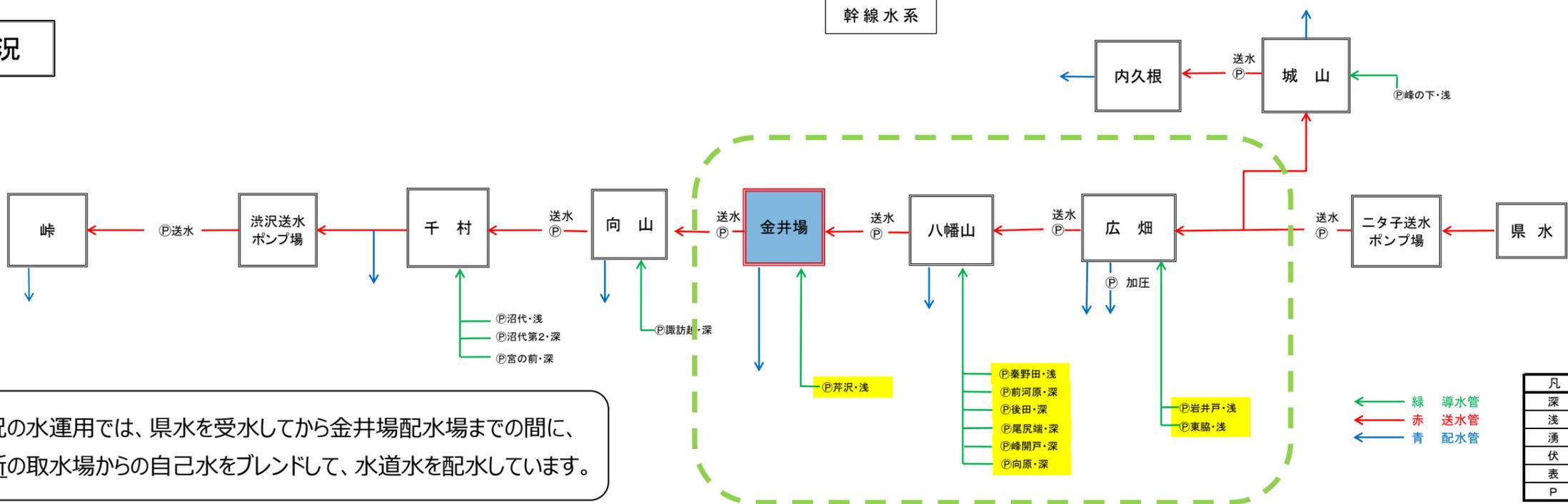
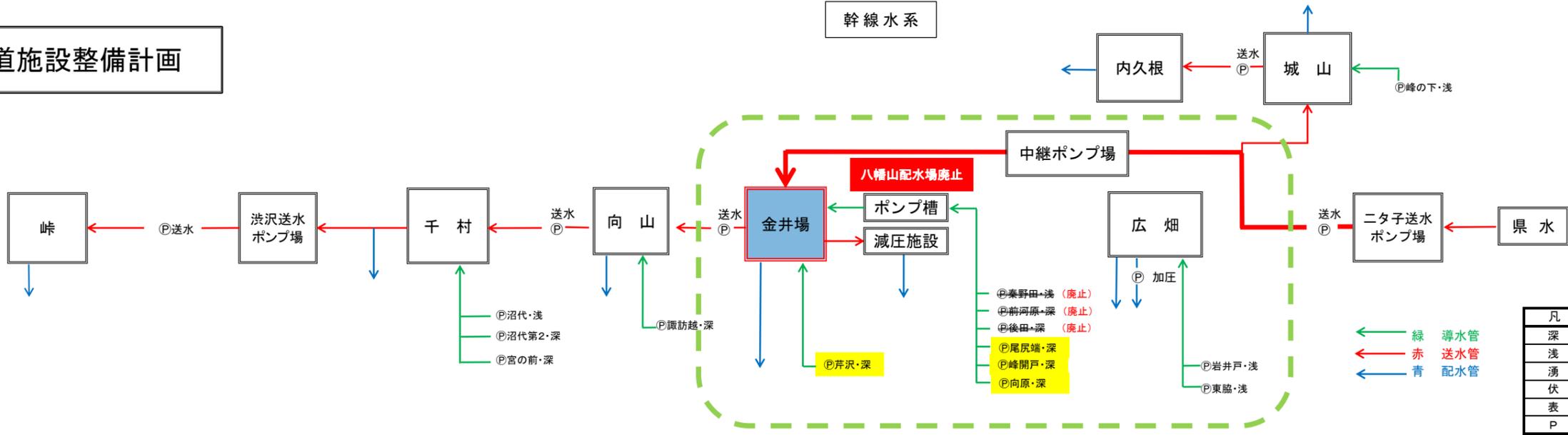


現況

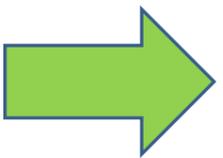


現況の水運用では、県水を受水してから金井場配水場までの間に、9箇所の取水場からの自己水をブレンドして、水道水を配水しています。

水道施設整備計画



水系統合に伴う八幡山配水場の廃止による幹線ルートの変更により、広畑配水場からの送水がなくなります。
また、3箇所の取水場を廃止する計画のため、金井場配水場には4箇所の取水場からの導水となることから、自己水の割合が低下してしまいます。



市民の貴重な財産である地下水を水道水源として持続的に活用するため、新水源の整備等をおこない、安全でおいしい水道水の供給に努めます。